

平成 18 年 4 月 6 日
電源開発株式会社

米国テナスカ・フロンティア (Tenaska Frontier) 発電所の権益取得について
- J パワー初の米国 IPP 事業

J パワー (電源開発株式会社、社長：中垣喜彦^{なかがきよしひこ}) は、昨年 1 月に設立した米国法人を通じて、米国テキサス州ヒューストン近郊にあるテナスカ・フロンティア発電所 (Tenaska Frontier Generating Station: 出力 83 万 kW ガスコンバインド) を所有するテナスカ・フロンティア・パートナー社 (以下「テナスカ FP 社」) の権益 62% を取得する契約をテナスカ社、CES 社と締結しました。

テナスカ FP 社は、テナスカ社 47%、ダイヤモンド社 28%、CES 社 25% の出資する米国法人でテナスカ・フロンティア発電所を建設、2000 年 9 月より営業運転しています。発生電力はエクセロン社に売電され、テキサス州他に供給されています。

今回、同社の権益の一部が競争入札にかけられ、J パワーとしては 20 年間の売電契約により相応の収益が見込めること、同発電所が安定的に運転されていること、共同事業者が優れていること等から、これに応札し、テナスカ社から 37% 分、CES 社から 25% 分、合計 62% の権益を取得することとしました。

今後、米国での許認可手続きを経て、5 月頃には権益を取得できる見込みです。

これにより、テナスカ FP 社の出資構成は J パワー 62%、ダイヤモンド社 28%、テナスカ社 10% となります。

なお、発電所の運営は、テナスカ・オペレーション社が引続き実施します。

J パワーは昨年 1 月米国での IPP 事業推進のため現地法人を設立し、調査・検討を進めており、本件は J パワーにとって初の米国での IPP 案件となります。

これにより J パワーが出資する海外 IPP 事業は、6 ケ国・地域 13 件が運転中であり、このほか 2 件が建設中です。

以上

< 添付資料 >

1. テナスカ・フロンティア発電所他の概要
2. J パワーの海外 IPP プロジェクト一覧